Leader's Message

科学の進歩と社会を調和させる挑戦

薬系技官が関わる衛生行政は、医薬品・食品・化学物質などの「物」の品質、有効性及び安全性をサイエンスに基づいて確保することを通じて国民の安全・安心を保証し、国民に向けて合理的な説明責任を負う仕事です。科学・技術の成果が世の中で実用化されるために、新しい科学・技術を評価し、人と社会と調和の上で最も望ましい姿に調整する仕事であり、これこそがレギュラトリーサイエンスの実践とも言えるものです。

時代の中で変化するサイエンスや社会・医療環境に柔軟に対応し、患者・国民にメリットがある技術や物を提供し続けていくこと、それにより、国民の「生きる」を支え、未来につないでいくことに意義があると感じます。行政の役割もかつて新薬や医療技術の実用化の「Gate Keeper」と言われていた時代から、「Traffic Controller」に性質が変わってきていると思います。今後、薬系技官の担う役割は、今よりさらに重要となり、社会から静かに評価される仕事になっていくと思います。

このようなやりがいのある仕事に、皆さんも是非加わってみませんか。

厚生労働省
大臣官房審議官
（医薬担当）
佐藤 大作
SATO Daisaku

薬系技官とは

医薬品や食品、化学物質など「モノ」が人体に与える影響に着目した、国民の暮らしや健康保持・増進に関する制度作りの他、安全な医療を届けるための仕組み作りの中心となって活躍する技術系行政官のことです。

政策立案から実施に至るプロセスすべてに関わります

薬系技官はすべての過程に関与します。円滑で適切な問題解決ができるように、わかりやすい資料を作成し、関係者と意見交換していくことが大切になります。

薬系技官の武器は分野の専門性と行政スキルです

行政官には色々な人の声に耳を傾け、政策を実行する能力が必要です。薬系技官はこのようなスキルに加えて、理系の基礎知識や「科学的にデータを評価し論理的に考える能力等の専門性」を武器に仕事を進めます。

薬系技官*は、薬学、化学、生物学等の基礎知識を背景にして、よりよい日本を築くために、あるいは日々発生する諸問題に対処するために、他職種や他省庁の職員等と協働しながら、職務に邁進することが期待されています。その活躍分野は意外に広く、薬事行政分野のみならず、研究開発振興、食品安全、化学物質規制等の多岐の分野に渡っています。日本社会には、科学という言語だけでは理解されず、また解決することもできない多数の機微があります。そのような社会にあって、世の中の感情に流されず、正しい知識を基に判断し、内に外に伝えていくこと。薬系技官には、そんな「メッセンジャー」としての役割もまた、求められています。

＊厚生労働省における総合職（化学・生物・薬学）の採用は、薬学部の卒業生に限定しているわけではなく、様々な他学部の方もいますが、主として薬事分野の業務に携わることから、このパンフレットにおいては、便宜的に「薬系技官」と称しています。

CONTENTS

審議官からのメッセージ 2
薬系技官とは 3
薬系技官が担う分野 4
幅広い場面で活躍する薬系技官 5
薬系技官の取り組むプロジェクト 6
薬系技官座談会 8
若手薬系技官に聞いてみました！ 12

活躍するフィールド

医薬局 総務課 14
医政局 総務課 15
医薬局 医薬品審査管理課 16
医薬局 医療機器審査管理課 17
医薬局 医薬安全対策課 18
医薬局 監視指導・麻薬対策課 19
医政局 医薬産業振興企画課 20
保険局 医療課 21
医政局 研究開発政策課 22
国立研究開発法人
医薬基盤・健康・栄養研究所 22
医薬局 化学物質安全対策室 23
環境省 23
消費者庁 24
食品安全委員会 25
熊本県庁 25
PMDA 26
医薬局 国際薬事規制室 27
世界で活躍する薬系技官 28
薬系技官のLife Style 30
キャリアパス 31
薬系技官のワークライフバランス .. 32
Q & A 34
採用情報・インターンシップ 35